

ステークホルダーと連携しながら、
経済的価値と社会的価値を共に
向上させて、将来にわたって
持続的な成長を目指します。

取締役 兼 常務執行役員
サステナビリティ担当 兼 経営戦略部門担当 須崎 裕之



三洋化成グループは創業以来、社会や人々の生活を快適・便利にする幅広い製品を開発し、「よりよい社会の建設」に寄与してきたという自負があります。しかし一方で、今日の地球環境の棄損や人類社会の格差拡大の多くが、これまでの企業活動によってもたらされた喫緊の課題となっていることも真摯に受け止めなければならないと思います。

サステナブル経営

2022年度当社グループは、「ステークホルダーと連携しながら、経済的価値と社会的価値を共に向上させて、将来にわたって持続的な成長を目指す」という経営姿勢を「サステナビリティ基本方針」によって明らかにし、マテリアリティを公表しました。そして、それらを実行するために長期の経営方針「WakuWaku Explosion 2030」を策定し、2023年度より中計2025による新たなビジネスモデルへの変革を進めています。

私たちはマテリアリティ特定に際して、社是「企業を通じてよりよい社会を建設しよう」に基づいて考えました。持続的に成長する未来を想定し、自分たちの強みを活かして社会課題を解決するための重要課題として6つのマテリアリティを特定しました。事業に関する2つのマテリアリティ「カーボンニュートラルの達成」と「QOLの向上」、基盤強化に関する4つのマテリアリティ「イノベーションの創出」「人財育成と職場環境の向上」「リスク管理の徹底」「挑戦を恐れな透明性のある経営」は、中計2025に落とし込まれ、目下グループ一丸となって達成を目指しているところです。（詳細は57～58ページをご覧ください。）

私が、サステナビリティ担当役員として現在最も注力しているのは、この事業計画を支えるESGへの取り組みです。具体的には、意思決定の仕組みをより透明性が高いものへと変え、ステークホルダーのみなさまとの対話の機会を増やし、さらなるCO₂排出量の削減、人権宣言へのコミットに基づく人権デュー・ディリジェンスの実施、また人的資本に関するより広範な開示等、サプライチェーン全体にわたるサステナビリティ活動の推進です。

統合報告書2024は、紙幅との兼ね合いからESGパートを簡略化していますが、別途サステナビリティサイトおよびサステナビリティレポートを発行していますので、ステークホルダーのみなさまには、併せてご覧いただき、当社のサステナブル経営にご理解いただければ幸いです。

WEB [サステナビリティ基本方針](#) >

WEB [レポートライブラリー](#) >